

おきたま 社会教育情報

Vol. 155 令和5年8月号

置賜地区中高生ボランティアセミナー開催！

8月2日（水）に飯豊少年自然の家を主会場に、標記セミナーを4年ぶりに開催いたしました。今年度は、管内の5つの中学校より10名、5つの高等学校から7名、計17名の生徒の皆さんに参加いただきました。

午前、文教の杜ながいにお勤めの金 東玉氏より地域活動の魅力についてお話しいただいたり、2名の講師よりボランティアのスキルアップを図る研修をしていただいたりしました（山形県環境科学研究センターの安藤 昭氏からは科学工作を、芳賀 竹男氏からはバルーンアートについてご指導いただきました）。

午後は、飯豊町の白樺学童クラブを訪問して、午前の研修で身に付けたスキルを活用して、学童クラブの小学生と交流を行いました。最初は緊張している様子も見られましたが、徐々に打ち解け、小学生はもちろん中高生もみんな笑顔で交流することができました。

参加者からは、「誰かに喜んでもらうために『自分も楽しみながら』考え、行動し、『同じ時間を共有する』ことが大事だと学ぶことができました。」や「ボランティアを通して、人との関わりの温かさや自分から積極的に人のためになろうとするこの楽しさを感じました。次回もあれば参加したいと思いました。」「自らが社会のためにできることを考え、実行し、よりよい社会をつくるため、貢献できるように頑張っていきたいと思いました。」といった感想が寄せられました。参加した生徒の皆さん一人一人にとって、学びの多い1日となったようです。

次年度も、多くの中高生の皆さんのご参加をお待ちしております。



「平野大好き！」～郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業～

8月3日（木）に、長井市平野コミュニティセンターにおいて、郷土の魅力発見・体験プログラム普及事業「おきたまジモディ（じもと×study）プログラム」を開催いたしました。本事業は新規の事業で、「中学生が企画・実施する、小学生向けの地域のよさを体感できるプログラム」を創設し、公民館・コミセンにおいて実施することで、参加した小学生が中学生になった時に事業を企画・実施していく循環をつくることを目的としています。

今年度は、平野地区に古くから伝わる平山獅子踊りについて、歴史を学んだり、踊りで使う道具を身に付ける体験をしたりしました。プログラムを企画した中学生と講師の片倉 稔氏には、7月30日の企画会議にも参加いただき、アイデアを出し合って当日の内容を考えたとのことです。参加した小中学生からは、「知らなかったことを教えてくれたり、中学生もやさしくしてくれたりしてうれしかった。」や「このような会で地域に貢献できて良かったです。」「平野のことがもっと好きになりました。地域のよさをみんなに発信できるようにしたいです。平野に生まれたことを誇りに、これからはつなげたいです。」といった感想が寄せられました。

次年度も、本事業を実施する公民館・コミセンを募集する予定ですので、ぜひ、ご検討をお願いいたします。



令和5年度置賜地区地域とともにある学校づくり研修会

(兼)社会教育主事有資格教員等研修会(兼)公民館・コミュニティセンター・社会教育関係職員等研修会

8月4日(金)、令和5年度の地域とともにある学校づくり研修会が4年ぶりに参集型にて行われました。今年度は、文科省のCSマイスター今泉良正氏(CSサポートみやぎ代表)を講師に迎え、「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～効果的な学校運営協議会の持ち方について～」というテーマで、講義と演習を行いました。

前半は学校運営協議会や地域学校協働活動の円滑な運営や進め方及び「熟議」の重要性について、具体的な事例を交えて講義いただき、後半は「熟議体験」を行いました。事前のアンケートからも「まだまだ熟議に至っていない。」「学校運営協議会の持ち方がわからない。」という声が多く寄せられていました。初めに「どんな子どもに育てたいか。」それぞれの立場で意見を出し合い、次に「すぐできそう」なことから取り組む優先順位を整理し、誰が何からどのように取り組むかを明確化していきました。

参加者からは「地域で様々な立場の方からご意見、アイデアを頂くプロセスがとても大切だと改めて感じた。地元でも今回の学びを生かしてお互いにアイデアを出し合いたい。」「今日の熟議のやり方、付箋を使った話し合いは、やはり盛り上がるし話もしやすいと感じた。今年からコーディネーターとしてやっているが、大変勉強になった。」等の声寄せられました。

当日、外は35℃を超える猛暑でしたが、それに負けない会場の熱気に、今後の置賜における「地域とともにある学校づくりの推進」を確信しました。

置賜教育事務所では、CSや地域学校協働活動の進め方、熟議の体験等について、**出前講座**を行っています。学校や各市町教委等の研修会へ社会教育主事がご説明に伺います。詳しくは置賜教育事務所社会教育課(☎0238-88-8242)までお問い合わせください。



親子でチャレンジ!消しゴムスタンプで絵本づくり

講師のあるほ氏(左)となつき氏(右)

8月27日(日)に南陽市沖郷公民館を会場に、読育推進連携講座「親子でチャレンジ!消しゴムスタンプで絵本づくり」を開催しました。る一つ企画のあるほなつき氏を講師に迎え、絵本がどのようにして作られるのかお聞きした後は、楽しい読み聞かせがあり、後半は消しゴムスタンプを用い、世界でたった1冊の絵本づくりに挑戦!親子で相談しながら思い思いにスタンプの組み合わせを楽しみつつ、オリジナルのお話を紡いでいきました。初めは恐る恐るスタンプを押していた子どもたちでしたが、すぐに「あるほなつきワールド」へ引き込まれました。提示された設定やスタンプの印影から想像を膨らませながらどんどん作業を進めます。瞬きを忘れるほど夢中になっている姿がほほえましい!笑顔と満足した表情が印象に残る、ほっこりした講座となりました。

あるほなつき氏のお話や参加者の方の様子から、本を読むことだけが「読育」ではなく、自分で絵本を作ることを通して、ストーリーを考えたり、形や大きさからどんな挿絵を描くか想像したり、という本につながるすべての関わりが「読育」であることを改めて教えていただきました。

「自分で絵本を作ってみるというのは、とてもワクワクする取り組みだと思った。」「大変有意義な会で、出来上がった本を大事そうにしていました。今回を機に本が好きな子になってほしいと思います。親子でよい思い出をつくることができました。」「このような講座があれば次回もぜひ参加したい。」等、参加者からは大変励みになる感想をいただきました。

山形県教育委員会では今後も「読育」や「幼児共育」の裾野を広げる取り組みを推進して参ります。



→ コードを読み取っていただくと、山形県のHP上で本紙のデジタル版とバックナンバーがご覧いただけます。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課Tel 0238(88)8242】